

市町村名	11南城市							
令和4年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	R4繰4-①	デジタルのまちづくり推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-エ		
担当部署名	企画部DX推進課		事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	デジタル社会を支える情報通信関連産業の高度化・高付加価値化		
事業内容	デジタル技術を活用した観光、公共交通、産業、教育などさまざまな分野間の目指す方向性や施策を整理したデジタル田園都市構想を策定し、本市のデジタル化のまちづくりを推進することで市民の利便性の向上、観光客誘客に繋げる。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R6年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	32,000					
		(b)予算現額	28,600					
		(c)増減額(b-a)	▲3,400	0				
		(d)繰越額	0	28,600				
		A.計(b+d)	28,600	28,600				
	B.執行済額			28,600				
	うち交付金充当額			22,880				
	次年度繰越額		28,600					
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%				
予算の状況の説明		地域事業者、団体との聞き取り調査の日程調整に不測の日数を要したため、翌年度へ繰り越して事業を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	デジタル田園都市構想の策定	目標	策定完了					
		実績	策定完了					
		目標						
		実績						
達成状況説明	・令和4年度策定を目指していたが、不測の日数を要したため令和5年度に策定完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R6年度)	
	デジタル田園都市構想に、地域課題解決に係るいずれかの取組を盛り込む。	目標	() (計画策定)	()	()	()	()	
		実績		完了				
	【R6成果目標】 デジタル田園都市構想(仮称)に記載した事業の実施:1事業	目標	() ()	()	()	()	(1事業)	
		実績						
	進捗状況説明	令和4年度から令和5年度に繰越となってしまったが、予定の業務を完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	作成した構想に基づき、各分野の事業を推進していくには庁内体制の強化・連携が重要なため、担当課との調整等に力を入れる必要がある。	各分野における先端技術を定期的に情報収集し、担当課との協議を行う。
今後の取り組み方針		
市デジ田構想内の事業を、担当課と連携・協議しながら、地域の情勢にあわせて実施していく。また、デジタル都市国家構想交付金も積極的に活用していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>28,600</td><td>28,600</td><td>22,880</td><td>5,720</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	28,600	28,600	22,880	5,720	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
28,600	28,600	22,880	5,720	0										
南城市 28,600千円 → 委託料 28,600千円 → 西日本電信電話株式会社沖縄支店 28,600千円 「南城市デジタル田園都市構想」 計画策定業務委託														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定については、業務の性質から、プロポーザル方式が妥当であると判断し選定・契約しているため、妥当であったと考えている。 ○概ね予定通りに事業を実施できており、事業規模も適正であった。 ○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	11南城市							
令和4年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	R4繰3-③	南城市耐候性野菜栽培施設整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア		
				おきなわブランドの確立と 生産供給体制の整備				
担当部署名	農林水産部 産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成27～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)			
事業内容	本市の基盤産業である1次産業の更なる推進を図るため、気象条件に左右されにくい耐候性ハウスを整備し、農産物の安定生産及び安定供給による農家の経営安定並びに南城市産野菜の産地形成を図る。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和11年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R4年度繰越	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	43,252					
		(b)予算現額	43,252					
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)繰越額	0	43,252				
		A.計(b+d)	43,252	43,252	0	0	0	
	B.執行済額		0	40,920				
	うち交付金充当額		0	29,760				
	次年度繰越額		43,252	0				
	執行率(%) (B/A)		0.0%	94.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		土搬入及び圃場の造成が遅れ、整備作業に不測の日数等が生じたため、事業費にかかる43,252千円を次年度へ繰越した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	①耐候性ハウスの整備(m ²)	目 標	3,000m ²					
		実 績	2,808m ²					
	②耐候性ハウスの整備(棟)	目 標	10棟					
		実 績	7棟					
達成 状況 説明	事業繰越後の進捗は順調で、当初予定していた目標を概ね達成できた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R11年度)	
	【R11成果目標(R4繰越事業)】 施設総面積28a(3戸分) 沖縄県なす指標10aあたり8t(1戸) 28aあたり22.4t(3戸あたり8年間(R11)目標値)	目 標	()	(0 t)	(13.4 t)	(t)	(22.4 t)	
		実 績		0 t	10.8 t	t		
	耐候性ハウスの整備完了	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	進捗 状況 説明	目標生産量に対する達成率は80%となっている。また、今回は初めての栽培にも関わらず、天敵農薬の活用もできていることから、栽培に関しても概ね良好の進捗である。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	栽培品目がナスのため、水の確保が必須。今期は雨が少なかったため、一部の生産者で水の確保に苦慮していた。またナスの果実は焼けやすいため、3月ごろから朝露での焼けが出ており、天気予報を見ながらハウスの開閉時間を調整する必要がある。	環境制御装置の導入などでハウスの開閉作業を効率化できるが、工事などのコスト面で費用と見合うか検討が必要。
今後の取り組み方針		
今後は栽培面での細かな技術（水や施肥）を向上させたい。次回の取り組みとしては、LPコートなどの緩効性で長く効く肥料を使用し、生産性を向上させることや太陽熱処理での土づくりを推進する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>40,920</td><td>29,760</td><td>23,808</td><td>5,952</td><td>11,160</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	40,920	29,760	23,808	5,952	11,160
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
40,920	29,760	23,808	5,952	11,160										
南城市 (29,760千円) → 補助金 (29,760千円) → 沖縄県農業協同組合 (29,760千円) 施設設置に係る経費 3農家 ほか、交付対象外経費 11,160千円														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外部団体参加の検討会を設け、公平公正な方法で選定を行っていた。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の6%以内であり、適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である農家は総事業費の2割を負担しており、事業内容から判断しても妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、工事完了段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											